

# 第106回薬剤師国家試験 直前最終チェックポイント!

第106回薬剤師国家試験(以下、国試)は、2月20日(土)、21日(日)に実施されます。106回国試からは改訂コアカリキュラムで学修した薬学生が受験する「**新出題基準対応の国試**」になります。

また、「薬剤師国家試験の在り方に関する基本方針」では、合格基準について「当面の間、全問題への配点の65%以上であって他の基準を満たしている場合は合格となるよう設定する」としていましたが、106回国試からは、この基準を適用しないことが発表されたため、改めて、合格基準が「**相対基準**」になりました。

求められる薬剤師像に沿って変化している国試に合格するため、106回国試に向けた「**最終チェックポイント**」を、薬学ゼミナールの全9領域の科目責任者が「**科目ごとの国試対策**」を紹介します。

【合格基準】※発表：2018年8月31日付

以下のすべてを満たすことを合格基準とする。なお、**禁忌肢の選択状況を加味する**。

①問題の難易を補正して得た総得点について、平均点と標準偏差を用いた**相対基準により設定した得点以上**であること。

②**必須問題**について、全問題への配点の**70%以上**で、かつ、構成する**各科目の得点がそれぞれの配点の30%以上**であること。

科目	問題区分				出題数計
	必須問題	一般問題	薬学理論問題	薬学実務問題	
物理・化学・生物	15問	45問	30問	15問(複合問題)	60問
衛生	10問	30問	20問	10問(複合問題)	40問
薬理	15問	25問	15問	10問(複合問題)	40問
薬剤	15問	25問	15問	10問(複合問題)	40問
病態・薬物治療	15問	25問	15問	10問(複合問題)	40問
法規・制度・倫理	10問	20問	10問	10問(複合問題)	30問
実務	10問	85問	-	20問+65問(複合問題)	95問
出題数計	90問	255問	105問	150問	345問

※実践問題は、「実務」20問、およびそれぞれの科目と「実務」とを関連させた複合問題130問からなる

【禁忌肢】※発表：2016年2月4日薬剤師国家試験制度改善検討部会

薬剤師には、医療人としての高い倫理観と使命感が求められることにかんがみ、薬剤師として選択すべきでない選択肢(いわゆる「禁忌肢」)を含む問題について、導入することとする。禁忌肢の導入にあたっては、**公衆衛生に甚大な被害を及ぼすような内容、倫理的に誤った内容、患者に対して重大な障害を与える危険性のある内容、法律に抵触する内容**等、誤った知識を持った受験者を識別するという観点から作問することとする。

ただし、偶発的な要素で不合格とならないよう出題数や問題の質に配慮する必要がある。

## 医学アカデミー 薬学ゼミナール



茂木 雄輔  
物理科目責任者



林 美樹子  
化学科目責任者



小林 あつみ  
生物科目責任者



大内 邦弘  
衛生科目責任者



猪又 雄太  
薬理科目責任者



横井 宏哉  
薬剤科目責任者



後藤 健太  
病態・薬物治療  
科目責任者



尾島 良太  
法規・制度・倫理  
科目責任者



坂口 努  
実務科目責任者

薬ゼミの統一模擬試験を使用した分析結果によると「**禁忌肢を選択しないため**」には、①**時間配分**をしっかりと行って、余裕を持って問題を読むこと②「1つ選べ」が続いた後の「2つ選べ」などで**マークミス**をしないこと③「**適切でないのはどれか**。」などの否定形のリード文で**選択ミス**をしないこと等が重要です。

### 物理

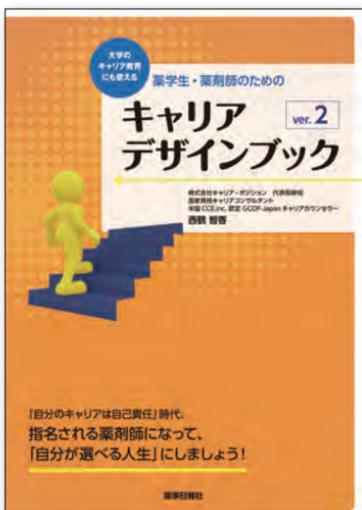
近年の**物理**の傾向として、各範囲から満遍なく、基本的な内容の問題、グラフ・図・表などを用いてその場で考える問題、計算問題などが幅広く出題されています。他科目と比較し、総合正答率が低い傾向が続いていますが、その中でも正答率の高い問題を取りこぼさないようにするためには、①既出問題を解く際に登場する**専門用語の意味**を調べて理解し、**説明できるレベル**になる②「**グラフ・図・表**」に関して、**どんな現象を表しているのか**を考える③**計算問題**に関して、「**公式**」が**どんな時に使えるのか**、**確認しておくこと**をお勧めします。

出題頻度の高い範囲は、**物理化学**では「**熱力学、反応速度論、分子間相互作用、酸・塩基**」、**分析化学**では「**クロマトグラフィー、分光分析、画像診断**」です。

### 化学

**化学**は基礎的な内容に加え、考える力を必要とする問題の出題が予想されま

『**薬剤師としての将来を考えよう!**』そのためのヒントが詰まっています!



B5判 122頁 定価 1,800円 + 税

## 大学のキャリア教育にも使える 薬学生・薬剤師のための キャリアデザインブック ver.2

著 西鶴 智香 株式会社キャリア・ポジション 代表取締役  
国家資格キャリアコンサルタント  
米国 CCE,inc. 認定 GCDF-japan キャリアカウンセラー

### POINT

- ◆キャリアデザインの必要性や考え方を基本から学べる
- ◆自分自身の考えを書き込みながら整理・分析することができるワークシートを多数掲載
- ◆薬剤師の具体的なキャリア実例を紹介

大学や企業で薬剤師のキャリアデザインについて講義してきた著者が、そのノウハウを活かし薬学生が自身の将来を描くためのキャリアデザインの方法やポイントを様々なデータや図表を交えてわかりやすく解説。

### 〈前版購入者の声〉

- ★自分の将来に関する**考え方、価値観を変えるきっかけ**になりました。(18歳・女性)
- ★漠然としていた**自分のやりたいことを明確**にして就活に臨むことができました。(22歳・男性)

薬事日報社 書籍のご注文は、オンラインショップ (<http://yakuji-shop.jp/>) または、書籍注文FAX03-3866-8408まで。